

第74回

全国学校歯科医 協議会

in みやざき



日時

令和6年11月7日(木)

15:30~20:00

オンデマンド配信

令和6年11月22日~12月31日

会場

シーガイア
コンベンションセンター
宮崎市山崎町浜山

[主催] 一般社団法人 宮崎県歯科医師会

[共催] 公益社団法人 日本学校歯科医会

[後援] 宮崎県教育委員会、宮崎県学校保健会、
宮崎市教育委員会

表紙の写真 フェニックス・シーガイア・リゾート



「シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート」、名門ゴルフコース「フェニックスカントリークラブ」、「バンヤンツリー・スパ」をはじめ、宿泊、温泉、レストラン、バー、フィットネス、クラブラウンジ、会議、宴会、結婚式など、世界レベルのサービスを提供する九州最大級の複合型リゾートホテルです。

夏休み期間やクリスマス時期には連日花火が上がり、季節ごとのグルメイベントや体験プログラムも満載です。

施設内のプールには白砂が引いてあり、海外のビーチリゾートのような気分を味わえます。

ホテル内のレストランも和食、寿司、有名シェフ監修のイタリアン、宮崎牛が食べられる鉄板焼きや宮崎地鶏と地酒を楽しめる郷土料理の店など豊富なラインナップ。優雅なリゾートステイをお楽しみいただけます。

目 次

◆ 第74回 全国学校歯科医協議会次第	2	
◆ 第74回 全国学校歯科医協議会懇親会次第	3	
◆ ご挨拶		
宮崎県歯科医師会会長	上 窪 高 志	4
日本学校歯科医会会長	栢 植 紳 平	5
◆ 祝 辞		
文部科学大臣	あ べ 俊 子	6
宮崎県知事	河 野 俊 嗣	7
宮崎県教育委員会教育長	黒 木 淳 一 郎	8
日本学校保健会会長	松 本 吉 郎	9
宮崎市市長	清 山 知 憲	10
◆ 講 演		11
講 演 児童生徒の健康格差の問題および新型コロナウイルス感染症の 影響について		
講 師 国立大学法人 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野 教 授 相 田 潤		
◆ 令和6年度文部科学大臣表彰受賞者		14
◆ 全国学校歯科医協議会・全国学校歯科保健研究大会の年次表		16

第74回 全国学校歯科医協議会 次第

日 時：令和6年11月7日(木) 午後3時30分

会 場：シーガイアコンベンションセンター 3F「瑞洋」

司 会：宮崎県歯科医師会専務理事 根 井 俊 輔

● 開会の辞 宮崎県歯科医師会副会長 佐 野 裕 一

● 挨 拶 宮崎県歯科医師会会長 上 窪 高 志
日本学校歯科医会会長 柘 植 紳 平

● 来賓祝辞 文部科学大臣 あ べ 俊 子
宮崎県知事 河 野 俊 嗣
宮崎県教育委員会教育長 黒 木 淳一郎
日本学校保健会会長 松 本 吉 郎
宮崎市長 清 山 知 憲

● 大臣表彰受賞者紹介

● 前回開催県報告 兵庫県歯科医師会会長 橋 本 芳 紀

● 次期開催県挨拶 神奈川県歯科医師会会長 守 屋 義 雄

司 会：宮崎県歯科医師会
学校歯科担当理事 野 間 隆 文

● 講 演

講 演 児童生徒の健康格差の問題および新型コロナウイルス感染症の影響について

講 師 国立大学法人 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科

歯科公衆衛生学分野 教授 相 田 潤

● 閉会の辞 宮崎県歯科医師会副会長 黒 木 晃 一

第74回 全国学校歯科医協議会懇親会 次第

日 時：令和6年11月7日(木) 午後6時30分

会 場：シーガイアコンベンションセンター 4F「蘭玉」

司 会：宮崎県歯科医師会理事 林 正太郎

● 挨拶 宮崎県歯科医師会会長 上 窪 高 志

● 乾 杯 神奈川県歯科医師会会長 守 屋 義 雄

● 開 宴

● 閉会の辞 宮崎県歯科医師会副会長 佐 野 裕 一



ご挨拶

一般社団法人 宮崎県歯科医師会
会 長

上 窪 高 志

晩秋の候、南国宮崎でも11月に入ると木々の葉も色づきはじめ、秋の気配が感じられる季節となりました。

この度「第74回全国学校歯科医協議会」を宮崎県にて50年ぶりに開催できますことを大変光栄に存じております。また、ご多用中にもかかわらず全国各地より大勢の皆様にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本日の「令和6年度全国学校保健・安全研究大会」におきまして、永年にわたる学校保健及び学校安全の普及、向上に尽力されたご功績のもと、文部科学大臣表彰の栄に浴された先生方に深甚なる敬意を表し、心よりお慶び申し上げます。

これに伴い、宮崎県歯科医師会では日本学校歯科医会との共催で「第74回全国学校歯科医協議会」をシーガイアコンベンションセンターを会場とした現地開催と後日、開催時の様子をオンデマンド配信する運びとなりました。協議会では、文部科学大臣表彰の栄に浴された先生方のご紹介ならびに東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野 相田 潤教授による「児童生徒の健康格差の問題および新型コロナウイルス感染症の影響について」と題したご講演を企画いたしました。

近年「格差社会」がクローズアップされる中で、健康格差についても大きな問題となりつつありますが、児童生徒の歯科保健の状況においては、地域間、個人間の格差が大きく表れています。また新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、歯科疾患の予防や治療にも影響を及ぼし、子供のう蝕が増加していることが日本の研究から示されています。これらの状況において歯科保健医療関係者が学校保健の場で何ができるのかご講演頂きます。

また、協議会後の懇親会では受賞された先生方を囲み、参加者の皆様方と親睦を深められますよう準備させていただいておりますので、お楽しみいただければ幸いです。

宮崎県は、天孫降臨の地の高千穂をはじめ神話に彩られた様々なパワースポットや豊かな自然、美しい景観を有する温暖な県です。また5年ごとに開催される全国和牛能力共進会（和牛オリンピック）において史上初・4大会連続で内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛の他、伊勢海老やマンゴーなど新鮮な海の幸、山の幸にも恵まれています。この機会に「日本のひなた宮崎県」を是非ご堪能いただければと存じます。

最後になりますが、本協議会の開催にあたり、日本学校歯科医会をはじめご指導、ご協力いただいた関係各位に対し心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

公益社団法人 日本学校歯科医会
会 長

柘 植 紳 平

第74回全国学校歯科医協議会がここ宮崎の地で開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

この度、栄えある文部科学大臣賞を受賞された先生にお祝いを申し上げますとともに、長年に渡り学校歯科保健に尽力されたご功績に心より敬意を表します。

この大会は、全国から学校歯科医が集い、最新の知見や情報を共有するとともに、学校歯科医としての今後の在り方や子供たちへのより良い教育の在り方等を協議するのが目的です。本日は東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野の相田 潤教授から「児童生徒の健康格差の問題および新型コロナウイルス感染症の影響について」の演題でご講演いただきます。必ずや私たちの明日につながる内容となるものであると大いに期待しています。

子供たちが社会に出てからより良い未来を築くためには、歯科保健を学校でしっかり学び、健康で過ごせる事が基本です。しかし現実には子供たちのむし歯罹患率は学校病のなかで群を抜いて高く、歯肉炎の罹患も低年齢化しています。規則正しい生活習慣の大切さを学ぶこと、歯みがきやフッ化物洗口の仕方を学ぶことは子供たちの将来の健康に大変重要であるばかりでなく、その子供が親になった時のその次の世代にも大きな影響を与える非常に大切な教育の機会です。単に面倒だからとか時間がないからという理由で子供たちの学ぶ機会を奪ってはならないのです。

末筆になりましたが、今協議会の開催にご尽力いただきました、宮崎県歯科医師会様始め、関係各位に深く感謝申し上げますご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

文部科学大臣

あ べ 俊 子

学校歯科医の皆様におかれましては、日頃から学校歯科保健活動の充実に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。また、長年にわたり学校歯科保健活動の普及・発展に御活躍いただき、大きな功績を上げられ、本日表彰の栄に浴された皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

学校保健については、児童生徒等が生涯を通じて自らの健康を管理し、改善していく資質や能力を育成するとともに、健康課題を有する児童生徒等に対してきめ細かな相談・指導体制を作っていくことが重要であります。

また、学校における歯・口の健康づくりに関して、これまでむし歯の予防については、大きな成果を上げてきましたが、近年は咀嚼など口腔機能の未発達や口腔の疾病が増加しており、今後は、これらの指導や対策の充実が求められています。

このような中、令和6年6月21日に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2024において、歯科保健教育の推進が示されたところであり、文部科学省としては、各学校において、ICTや外部講師の活用といった歯科保健教育の取組が行われるよう努めてまいりますので、学校歯科医の皆様方におかれても、引き続きの御協力・御支援をいただきますよう、よろしく申し上げます。

結びに、本協議会の開催に当たり、御尽力いただきました一般社団法人宮崎県歯科医師会、公益社団法人日本学校歯科医会をはじめとする関係の皆様に変更して感謝申し上げますとともに、本協議会の御成功と、御参会の皆様のみますますの御活躍を祈念し、お祝いの言葉とします。



祝 辞

宮崎県知事

河野 俊嗣

「第74回全国学校歯科医協議会」が、宮崎の地で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、開催県を代表して、全国各地から御参加いただきました学校歯科医をはじめ、学校歯科保健に携わる多くの皆様を心から歓迎いたします。

また、皆様には、日頃から子どもたちの健康の保持・増進、とりわけ歯及び口腔の健康づくりに御尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表するとともに、厚くお礼を申し上げます。

さて、近年、子どもたちを取り巻く社会情勢や生活環境は大きく変化しており、心身の健康に様々な影響を及ぼしております。スマートフォン等の普及に伴う視力低下や生活習慣の乱れ、アレルギー疾患や口腔の疾病、メンタルヘルスに関する課題などに加え、コロナ禍における人間関係や生活様式の変化に伴う不登校児童生徒の増加など、子どもたちが直面する課題は多様化かつ深刻化しています。

これらの健康課題の解決には、これまで以上に学校、家庭、地域の連携や協働が重要であり、未来を担う子どもたちの健康を守り、心身の健やかな成長を支えていけるよう、社会全体で取り組んでいく必要があります。

現在、宮崎県では、本県の強みを生かし、更なる成長につなげるため、3つの分野で日本一を目指す「日本一挑戦プロジェクト」を推進しているところであります。そのうち、「子ども・若者プロジェクト」においては、様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備を図りながら、「みやざき」の未来を担う子どもたちの育成に努めております。

また、歯科保健においては「第3期宮崎県歯科保健推進計画」に基づき、全ての県民が生涯にわたり健康で質の高い生活を営むことができる歯科口腔保健の実現を目標に、学齢期においては、正しい歯科保健知識の啓発や好ましい歯科保健行動・習慣の定着などに取り組んでおります。

このような中、全国の学校歯科保健に携わる皆様一堂に会し、講演や意見交換が行われますことは、誠に意義深いことであり、本大会の成果により学校歯科保健の更なる充実が図られることを心から期待しております。

「日本のひなた宮崎県」をキャッチフレーズとする本県は、温暖な気候と豊かな自然に育まれた食の宝庫です。また、神話にゆかりの深い神秘的なスポットや紺ぺきの日向灘など美しい景観の観光地も数多くあります。御来県の皆様には、ぜひこの機会に、宮崎の様々な魅力も御堪能いただき、大会の思い出に加えていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催に御尽力いただいた関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の御成功と、皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

宮崎県教育委員会教育長
黒木 淳一郎

全国各地から、多くの学校歯科医並びに学校歯科保健関係の皆様にご参加いただき、第74回全国学校歯科医協議会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

また、皆様には、日頃から、歯科健診をはじめとする学校歯科保健活動を通じて、歯と口腔の健康づくりなど子供たちの健康の保持・増進のために御指導、御協力いただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、未来を担う子供たちが、生涯にわたり健康で豊かな生活を送り、一人一人の多様なウェルビーイングを実現することは、私どもの何よりの願いであります。

一方、子供たちの心身の健康は、近年の社会環境や生活環境の急激な変化に大きく影響を受け、健康課題は多様化かつ深刻化しており、歯と口腔においても、咀嚼などの口腔機能の未発達や口腔の疾病の増加などの課題が指摘されているところです。

また、歯周病と糖尿病や循環器疾患等の全身疾患との関連性も言われており、歯と口腔の健康づくりに取り組むことは、全身の健康を保つ上でも重要であります。

しかしながら、歯と口腔の健康は、子供の生活環境や食生活が大きく影響することから、学校だけの取組では不十分であり、家庭や地域とより一層連携し、子供たち自身が課題解決のために主体的に判断し、行動できる力を培う教育の充実を図る必要があります。

宮崎県教育委員会では、令和5年度に改定した「宮崎県教育振興基本計画」において、「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」のスローガンのもと、変化が激しく予測困難な時代だからこそ、調和のとれた心身の育成、そして、より高い価値を求めて生きようとする「たくましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」を育む教育を推進しています。また、健康に関する知識を身に付け、生涯にわたって主体的に健康な生活を実践することができる資質や能力を育成するために、家庭や地域、医療機関などと連携しながら学校における健康教育の充実を図っています。

このような中、今回、本県において、全国の学校歯科医や学校歯科保健関係者の皆様が一堂に会し、本協議会が開催されますことは、大変意義深く、参加される皆様の御意見や御提言に基づく取組が、今後の学校歯科保健活動の一層の充実・発展につながるものと期待しています。

結びに、本協議会の開催に御尽力くださいました公益社団法人日本学校歯科医会、一般社団法人宮崎県歯科医師会をはじめとする関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、今後一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

公益財団法人 日本学校保健会
会 長

松 本 吉 郎

第74回全国学校歯科医協議会が宮崎県で開催されるに当たりまして、一言お祝い申し上げます。

本日お集まりの皆様には、日頃から学校保健の普及向上に熱心にお取り組みいただいておりますことに、感謝申し上げます。また、長年にわたり学校歯科保健活動の普及・発展にご活躍いただき、大きな功績を上げられ、本日表彰の栄に浴されました皆様方には、深く敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供たちの心身の健康に大きな影響を与え、アレルギー疾患や感染症、肥満や痩身、メンタルヘルスの問題、薬物乱用や生活習慣の乱れ等、様々な健康課題が複雑化・多様化しております。

学校歯科保健においてもコロナ禍を経て、児童生徒の口腔内の衛生環境の悪化や口腔衛生指導の重要性、加えて児童生徒の健康格差も課題に上げられています。子供の健康の保持増進を図るためには、学校現場における健康相談や保健指導と関連させながら歯科検診の更なる充実を図ることが求められています。

これらの課題解決のためには、健康診断及び健康相談を通じて、専門的知見に基づいた効果的な保健指導や学校関係者への適切な指導・助言を行うことが大変重要であり、子供たちの成長に関わる医療系専門家としての学校歯科医の役割は益々大切になってきております。全国から学校歯科保健関係者の皆様が参集し、学校歯科保健の最新の知見及びその実践について協議を行うことは、大変意義深いことと存じます。

また、複雑・多様化する子供たちの健康課題の解決のためには、学校における対応だけでなく、関係機関の連携が不可欠であります。全国の各歯科医師会、学校歯科医会におかれましても、学校保健の地域連携体制の構築に、ご尽力いただきますようお願いいたします。

本会は文部科学省の指導、協力の下、様々な学校保健の事業を推進しております。

また、地域の感染症リアルタイムサーベイランスである「学校等欠席者・感染症情報システム」の普及、校務支援システムとの連携事業を進めてまいります。今後も学校保健の向上発展に力を尽くして参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、このたび大会開催にご尽力されました一般社団法人宮崎県歯科医師会、公益社団法人日本学校歯科医会をはじめとする関係者の皆様にご感謝申し上げますとともに、本協議会の今後益々のご発展とご参会の皆様のご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

宮崎市長

清 山 知 憲

全国学校歯科医協議会の皆様におかれましては、日頃より学校歯科保健事業にご尽力いただき、誠にありがとうございます。この度、第74回全国学校歯科医協議会が宮崎市で開催されることとなり、大変光栄に思います。

宮崎市は、本年、市制100周年という節目を迎えました。このような記念すべき年に、全国各地から学校歯科医の皆様をお迎えできますことは、大変喜ばしく、大会の成功を心から祈念いたします。

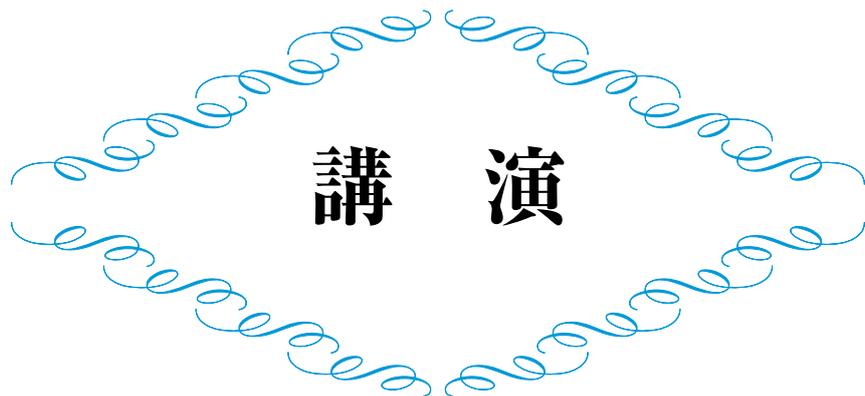
近年、少子高齢化や生活習慣の変化に伴い、子どもの口腔健康についても様々な課題を抱えています。虫歯や歯周病予防、そして食育の推進など、学校歯科医の皆様をはじめ、関係機関と連携し、子どもたちの口腔健康増進に積極的に取り組んでいくことが重要だと考えています。

当市では、学校歯科医の皆様のご指導のもと、学校歯科検診の実施や、平成22年度から導入しているフッ化物洗口などの予防処置を推進しています。こうした学校歯科医の中には、実に半世紀を超えてお務めいただいている方もおられるとのことで、本当に長きにわたり、子どもたちの口腔健康意識を高め、健やかな成長をサポートしていただいていることに感謝申し上げます。

さて、今回の大会では、全国の学校歯科医の皆様による闊達な意見交換が行われ、より良い学校歯科保健事業を展開するためのヒントをつかんでいただきたいと考えています。加えて、皆様の豊富な経験と知識を共有し、日本中の学校歯科保健事業のさらなる発展に繋げていただきたいと考えております。

ここ宮崎市は、太陽の光が降り注ぐ、活気あふれるまちです。美しい自然や歴史ある文化遺産、おいしさ日本一の宮崎牛や地鶏、焼酎など宮崎の豊かな海の幸、山の幸がございますので、ご滞在中にはお時間を見つけて、当市の魅力を存分に味わっていただきたいと思います。

最後になりますが、今回の大会開催にあたり、関係各位の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。本大会がご盛況のうちに終了することを願いますとともに、皆様と力を合わせ、子どもたちの笑顔あふれる未来を築いていくことを改めて決意しまして、お祝いのことばとさせていただきます。



講演

第74回 全国学校歯科医協議会

児童生徒の健康格差の問題および

新型コロナウイルス感染症の影響について



国立大学法人 東京科学大学
大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野

教授 相田 潤

我々は、教育をして知識を付ければ、適切な行動ができて健康になると考えがちである。しかし複数のノーベル賞受賞者が輩出された行動経済学は、人間はそのように合理的でないことを示した。過去20年の公衆衛生学も同様に、このようなシンプルな人間の理解に疑問を投げかけた。例えば、自殺を考えるほどの経済的な余裕がない状況では、健康の知識を持っていたとしても、適切な行動が難しくなる。このような状況は「社会的決定要因」とよばれ、健康格差の大きな原因となっている。

過去10年間ほどの間に、国際的に歯科口腔の健康の重要性の認識が高まっており、2019年には医学誌Lancetで196年の歴史の中で初めてとなる口腔保健の特集号が出版され、2021年には世界保健機関（WHO）の第74回世界保健総会で口腔保健に関する歴史的な決議が承認された。このように口腔の重要性の認識が高まった理由として、口腔疾患の有病率の高さや健康格差の大きさ、口腔の健康が全身の健康に影響することなどがデータに基づいて認識されるようになってきたことが挙げられる^{1, 2)}。

特に健康格差に関しては、新型コロナウイルス感染症は、社会に大きな影響を与えた。自殺は失業や貧困が大きな原因となるが、厚生労働白書（令和3年版）では、過去10年ほど減少を続けていた自殺者数が、コロナ禍で増加に転じ、そして自殺の増加は特に女性で顕著なことが示されている³⁾。新型コロナウイルス感染症の流行時の感染対策を重視した社会は、経済的に困窮する人を増やし、また家庭におけるDV相談件数を増やしたことが白書で指摘されている。非正規雇用の多い女性は、このような状況下で脆弱で、結果として自殺が増加した。当然ながらこのような状況下においては、歯科疾患の予防や治療も、所得の低い家庭や、シングルマザーの家庭で困難だったと考えられる。実際、コロナ禍において、子どものう蝕がコロナ以前よりも増加していることが日本の研究から示されている⁴⁾。

こうした状況下において、歯科保健医療関係者は学校保健の場で何ができるのか、考えていきたい。

講師プロフィール

相田 潤 (あいだ じゅん)

- MPH, DDS, PhD
- 日本口腔衛生学会 認定医・指導医
- 日本疫学会 上級疫学専門家
- 日本公衆衛生学会 認定専門家

【ご略歴】

年 月	内 容
2003年3月	北海道大学歯学部卒業
2004年3月	国立保健医療科学院専門課程修了
2007年3月	北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了
2007年4月～	東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野助教 就任
2010年4月～ 2011年3月	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン客員研究員
2011年11月～	東北大学大学院歯学研究科准教授
2012年10月～ 2019年3月	宮城県保健福祉部参与（歯科医療保健政策担当）兼務
2020年8月～ 2021年5月	東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンター地域展開部門教授（クロスアポイントメント）
2020年8月～	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野教授 （現）国立大学法人 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 歯科公衆衛生学分野教授

- 口腔の健康格差の研究、口腔の健康と全身の健康の研究、東日本大震災と健康の社会的決定要因の研究、ソーシャル・キャピタルと健康の研究などに従事。
- 日本老年学的評価研究（JAGESプロジェクト）・コアメンバー、口腔の健康格差の研究と政策の国際センター・コアメンバー、日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会委員長、東北大学特任教授などを務める。

文 献

- 1) WHO : World Health Assembly Resolution paves the way for better oral health care :
[<https://www.who.int/news/item/27-05-2021-world-health-assembly-resolution-paves-the-way-for-better-oral-health-care>] 2021.
- 2) 日本口腔衛生学会：第74回 WHO総会議決書を踏まえた学会声明：
[http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20220517.pdf] 2022.
- 3) 厚生労働省：令和3年版厚生労働白書－新型コロナウイルス感染症と社会保障－：
[<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/20/index.html>] 2021.
- 4) Matsuyama Y, Isumi A, Doi S, Fujiwara T : Impacts of the COVID-19 Pandemic Exposure on Child Dental Caries : Difference-in-Differences Analysis, Caries Res, 56 : 546-554, 2022.

令和6年度 文部科学大臣表彰受賞者

〈学校歯科医〉(50名)

No.	都道府県名	所属学校等名	氏名
1	北海道	もと むろらんしりつちりべつしょうがっこう 元 室蘭市立知利別小学校	しば た のぶ ゆき 柴田 信行
2	北海道	よいちちようりつおおかわしょうがっこう 余市町立大川小学校	ねり あい てつ や 練合 哲哉
3	北海道	ほっかいどうくしろつるのしえんがっこう 北海道釧路鶴野支援学校	はま なか せい ぞう 濱中 征三
4	北海道	くしろしりつみはらちゅうがっこう 釧路市立美原中学校	よし もと まさ み 葭本 正美
5	青森県	もと あおもりけんりつあおもりきたこうとうがっこう 元 青森県立青森北高等学校	しま や やす ひさ 嶋谷 保壽
6	岩手県	もと にのへしりつにのへにししょうがっこう 元 二戸市立二戸西小学校	わた なべ しん ぞ 渡邊 新悟
7	宮城県	おおさきしりつふるかわひがしちゅうがっこう 大崎市立古川東中学校	きく ち ひろ お 菊地 博生
8	宮城県	せんだいしりつふるじろしょうがっこう 仙台市立古城小学校	ほり ひろ のり 堀 広範
9	福島県	きたかたしりつだいさんちゅうがっこう 喜多方市立第三中学校	もの え あきら 物江 暁
10	茨城県	いばらきけんりつしもだてだいいちちこうとうがっこう 茨城県立下館第一高等学校	つつみ ひろし 堤 宏
11	栃木県	にっこうしりつおおくわしょうがっこう 日光市立大桑小学校	あん さい みおこ 安西 未央子
12	群馬県	しょうわそんりつしょうわちゅうがっこう 昭和村立昭和中学校	いま なり りょう 今成 亮
13	埼玉県	にいざしりつにいざちゅうがっこう 新座市立新座中学校	たけ なか よし かず 竹中 義和
14	千葉県	もと かわしりつなかはらしょうがっこう 元 柏市立中原小学校	きた うら とし あき 北浦 利明
15	東京都	としまくりつみなみいけぶくろしょうがっこう 豊島区立南池袋小学校	たかくさぎ あきら 高草木 章
16	神奈川県	さがみはらしりつあさみぞしょうがっこう 相模原市立麻溝小学校	ま じま よう いち 馬嶋 洋一
17	新潟県	もと いずもざきちようりついずもざきしょうがっこう 元 出雲崎町立出雲崎小学校	ほん ま てつ お 本間 哲雄
18	新潟県	もと ながおかしりつみやうちしょうがっこう 元 長岡市立宮内小学校	おお たけ まさ と 大竹 正人
19	富山県	おやべしりついすぎしょうがっこう 小矢部市立石動小学校	やま だ たか ひろ 山田 隆寛
20	富山県	なめりかわしりつせいぶしょうがっこう 滑川市立西部小学校	なか い ゆう いち 仲井 雄一
21	石川県	こまつしりつこくふしょうがっこう 小松市立国府小学校	なか やま はるひ こ 中山 春比古
22	石川県	いしかわけんりつかなざわふしみこうとうがっこう 石川県立金沢伏見高等学校	しら お ひで と 白尾 秀人
23	福井県	もと ふくいけんりつわかざこうとうがっこう 元 福井県立若狭高等学校	おお した たけ とし 大下 丈敏
24	山梨県	やまなしえいわちゅうがっこう・こうとうがっこう 山梨英和中学校・高等学校	たけ い けい いち 武井 啓一
25	長野県	ながのけんながのもうがっこう 長野県長野盲学校	たに ぐち たけ お 谷口 威夫

令和6年度 文部科学大臣表彰受賞者

〈学校歯科医〉(50名)

No.	都道府県名	所属学校等名	氏名
26	岐阜県	もと なかつがわしりつおちあいしょうがっこう 元 中津川市立落合小学校	うえ だ のぶ よし 上 田 信 義
27	静岡県	ふじえだしりつたかすみなみしょうがっこう 藤枝市立高洲南小学校	あお しま たか ゆき 青 島 孝 之
28	愛知県	かすがいしりつしのぎしょうがっこう 春日井市立篠木小学校	とく まる けい じ 徳 丸 啓 二
29	愛知県	なごやしりつつかみのくらちゅうがっこう 名古屋市立神の倉中学校	ふじ い よし ひさ 藤 井 義 久
30	三重県	くわなしりつたどきたしょうがっこう 桑名市立多度北小学校	みや た たもつ 宮 田 保
31	滋賀県	くざつしりつしづしょうがっこう 草津市立志津小学校	あり ま たけ お 有 馬 健 雄
32	京都府	きょうとがいでいにしこうとうがっこう 京都外大西高等学校	さ どう まさ ゆき 佐 藤 雅 之
33	大阪府	ねやがわしりつだいはちちゅうがっこう 寝屋川市立第八中学校	よし かわ しん 吉 川 伸
34	兵庫県	たんばしりつにいしょうがっこう 丹波市立新井小学校	うす き てつ お 臼 杵 哲 男
35	奈良県	かしはらしりつうねびきたしょうがっこう 橿原市立畝傍北小学校	よし の おさ ふみ 吉 野 修 史
36	和歌山県	わかやましりつざいかしょうがっこう 和歌山市立雑賀小学校	い どう しょう はち 伊 東 正 八
37	島根県	ますだしりつよしだしょうがっこう 益田市立吉田小学校	りょう け かず ゆき 領 家 一 如
38	広島県	ふくやましりつみゆきしょうがっこう 福山市立御幸小学校	うち だ たけ し 内 田 武 志
39	徳島県	とくしまじょうせいちゅうがっこう 徳島市城西中学校	おり ほら よし み 折 原 佳 実
40	香川県	たかまつしりつしんばんちょうしょうがっこう 高松市立新番丁小学校	ほそ かわ まさ ゆき 細 川 雅 敬
41	高知県	もと こうちけんりつこうちにしこうとうがっこう 元 高知県立高知西高等学校	やま もと せい み 山 本 静 海
42	福岡県	きたきゅうしゅうしりつはぎがおかしょうがっこう 北九州市立萩ヶ丘小学校	あき みつ ただ ひろ 秋 満 忠 啓
43	佐賀県	おおまちちょうりつしょうちゅういっかんこうおおまちひじりがくえんぜんきかてい 大町町立小中一貫校大町ひじり学園(前期課程)	お がさわら せい いち 小 笠 原 誠 一
44	長崎県	もと まつうらしりつみくりやちゅうがっこう 元 松浦市立御厨中学校	たか しま ちか ひで 高 島 近 英
45	熊本県	おくにちょうりつおくにちゅうがっこう 小国町立小国中学校	こ だま むつ お 児 玉 睦 雄
46	大分県	ぶんごたかだしりつつくさじしょうがっこう 豊後高田市立草地小学校	かば た いえ みつ 椀 田 家 光
47	大分県	さいきしりつきたちしょうがっこう 佐伯市立木立小学校	なが たに げん お 永 谷 源 雄
48	宮崎県	あやちょうりつあやしょうがっこう 綾町立綾小学校	た くち えい いち 田 口 榮 一
49	鹿児島県	きりしましりつおのしょうがっこう 霧島市立小野小学校	ひら かわ すみ のり 平 川 純 教
50	沖縄県	にしはらちょうりつにしはらひがしちゅうがっこう 西原町立西原東中学校	たい ら けい しん 平 良 恵 信

年次表

全国学校歯科医協議会

回	開催県	開催年月日
1	福岡県	昭和26年 10月6～8日
2	宮城県	昭和27年 9月4～6日
3	香川県	昭和28年 11月15～17日
4	島根県	昭和29年 9月9～11日
5	福井県	昭和30年 10月15～17日
6	滋賀県	昭和31年 10月13～15日
7	千葉県	昭和32年 10月16～18日
8	新潟県	昭和33年 9月19～21日
9	広島県	昭和34年 11月14～16日
10	福島県	昭和35年 10月15～17日
11	青森県	昭和36年 10月15～17日
12	静岡県	昭和37年 11月10～12日
13	熊本県	昭和38年 11月9～11日
14	石川県	昭和39年 11月8～10日
15	三重県	昭和40年 11月13～15日
16	群馬県	昭和41年 11月12～14日
17	愛媛県	昭和42年 11月25～27日
18	岐阜県	昭和43年 11月22～24日
学校保健法制定十周年記念		
19	鹿児島県	昭和44年 11月22～24日
20	秋田県	昭和45年 10月27～29日
21	岡山県	昭和46年 11月13～15日
22	北海道	昭和47年 9月2～4日
23	富山県	昭和48年 9月29日～10月1日
24	宮崎県	昭和49年 11月9～11日
25	埼玉県	昭和50年 11月7～9日

回	開催県	開催年月日
26	高知県	昭和51年 11月12～15日
27	兵庫県	昭和52年 11月11～14日
28	岩手県	昭和53年 9月22～25日
29	愛知県	昭和54年 10月19～22日
30	山口県	昭和55年 11月7～10日
31	神奈川県	昭和56年 11月5～7日
32	山形県	昭和57年 10月28～30日
33	京都府	昭和58年 10月27～29日
34	東京都	昭和59年 10月31日～11月2日
35	長崎県	昭和60年 11月7～9日
36	栃木県	昭和61年 10月23～25日
37	大阪府	昭和62年 11月11～16日
38	長野県	昭和63年 11月9～12日
39	茨城県	平成元年 11月16～18日
40	沖縄県	平成2年 11月14～16日
41	奈良県	平成3年 11月7・8日
42	山梨県	平成4年 11月5・6日
43	大分県	平成5年 11月11・12日
44	和歌山県	平成6年 11月10・11日
45	徳島県	平成7年 11月16・17日
46	佐賀県	平成8年 11月14・15日
47	鳥取県	平成9年 9月25・26日
48	宮城県	平成10年 11月5日
49	岐阜県	平成11年 11月18日
50	福岡県	平成12年 11月9日
51	千葉県	平成13年 11月8日

回	開催県	開催年月日
52	福井県	平成14年 11月7日
53	青森県	平成15年 11月6日
54	福島県	平成16年 10月28日
55	滋賀県	平成17年 11月10日
56	島根県	平成18年 11月9日
57	香川県	平成19年 11月8日
58	新潟県	平成20年 11月6日
59	広島県	平成21年 11月10日
60	群馬県	平成22年 11月18日
61	静岡県	平成23年 10月27日
62	熊本県	平成24年 11月8日
63	秋田県	平成25年 11月7日
64	石川県	平成26年 11月6日
65	愛媛県	平成27年 12月3日
66	北海道	平成28年 10月27日
67	三重県	平成29年 11月16日
68	鹿児島県	平成30年 10月27日
69	埼玉県	令和元年 11月21日
70	富山県	令和2年 11月12日
71	岡山県	令和3年 10月28日
72	岩手県	令和4年 11月10日
73	兵庫県	令和5年 10月26日
74	宮崎県	令和6年 11月7日
75	神奈川県	令和7年 11月20日

全国学校歯科保健研究大会

回	開催県	開催年月日
1	東京都	昭和6年 4月6日
2	東京都	昭和7年 4月8日
3	福岡県	昭和8年 5月20～22日
4	愛知県	昭和9年 5月20～22日
5	東京都	昭和10年 5月19・20日
6	山梨県	昭和11年 5月3～5日
7	大阪府	昭和12年 5月16～18日
8	静岡県	昭和13年 5月1～3日
9	京都府	昭和14年 9月13～15日
10	宮崎県	昭和15年 5月11～13日
11	秋田県	昭和16年 6月14～16日
12	兵庫県	昭和17年 5月9・10日
13	東京都	昭和18年 5月16・17日
14	愛知県	昭和25年 10月21日
15	福岡県	昭和26年 10月5日
16	宮城県	昭和27年 8月3日
17	香川県	昭和28年 11月14・15日
18	島根県	昭和29年 10月8日
19	東京都	昭和30年 11月21～23日
20	北海道	昭和31年 8月5・6日
21	岐阜県	昭和32年 7月21・22日
22	栃木県	昭和33年 10月24・25日
23	富山県	昭和34年 9月29日～10月1日
24	和歌山県	昭和35年 9月25・26日
25	神奈川県	昭和36年 11月12～14日
26	京都府	昭和37年 11月23・24日
27	山形県	昭和38年 10月5・6日
28	富山県	昭和39年 9月18・19日
29	東京都	昭和40年 10月17・18日
30	大阪府	昭和41年 11月19・20日

回	開催県	開催年月日
31	愛知県	昭和42年 11月11・12日
32	熊本県	昭和43年 11月10～12日
33	滋賀県	昭和44年 9月21・22日
34	静岡県	昭和45年 10月25・26日
35	千葉県	昭和46年 10月28・29日
36	秋田県	昭和47年 10月10・11日
37	東京都	昭和48年 11月17・18日
38	京都府	昭和49年 10月12・13日
39	香川県	昭和50年 11月15・16日
40	栃木県	昭和51年 10月30・31日
41	神奈川県	昭和52年 9月30日・10月1日
42	大阪府	昭和53年 11月17・18日
43	兵庫県	昭和54年 11月9・10日
44	鹿児島県	昭和55年 11月14・15日
45	東京都	昭和56年 11月13・14日
46	愛媛県	昭和57年 10月15・16日
47	福岡県	昭和58年 11月25・26日
48	山形県	昭和59年 9月28・29日
49	奈良県	昭和60年 10月25・26日
50	岩手県	昭和61年 9月19・20日
51	岐阜県	昭和62年 10月23・24日
52	青森県	昭和63年 10月14・15日
53	和歌山県	平成元年 10月27・28日
54	広島県	平成2年 10月19・20日
55	宮城県	平成3年 10月18・19日
56	徳島県	平成4年 11月13・14日
57	埼玉県	平成5年 12月2・3日
58	富山県	平成6年 9月29・30日
59	愛知県	平成7年 10月19・20日
60	東京都	平成8年 11月21・22日

回	開催県	開催年月日
61	福島県	平成9年 10月16・17日
62	沖縄県	平成10年 11月19・20日
63	北海道	平成11年 9月30日・10月1日
64	高知県	平成12年 11月30日・12月1日
65	大阪府	平成13年 11月15・16日
66	宮崎県	平成14年 10月10・11日
67	秋田県	平成15年 10月2・3日
68	静岡県	平成16年 11月11・12日
69	岡山県	平成17年 11月17・18日
70	千葉県	平成18年 10月19・20日
71	福岡県	平成19年 10月18・19日
72	神奈川県	平成20年 10月16・17日
73	京都府	平成21年 10月29・30日
74	茨城県	平成22年 10月28・29日
75	愛媛県	平成23年 10月20・21日
76	群馬県	平成24年 10月25・26日
77	熊本県	平成25年 10月17・18日
78	島根県	平成26年 10月23・24日
79	長野県	平成27年 10月29・30日
80	東京都	平成28年 11月16・17日
81	青森県	平成29年 10月26・27日
82	沖縄県	平成30年 12月6・7日
83	山口県	令和元年 10月17・18日
84	福井県	令和2年 10月8・9日
85	東京都	令和3年 10月21日
86	山梨県	令和4年 10月20日
87	大阪府	令和5年 10月19日
88	長崎県	令和6年 10月17日
89	広島県	令和7年 10月16・17日

MAP ~会場周辺案内図~



ACCESS ~交通のご案内~



タクシー約25分 (有料道路利用)



電車約10分

宮崎駅



タクシー約25分



バス約30分

シーガイアコンベンションセンター



一般社団法人
宮崎県歯科医師会
〒880-0021 宮崎市清水1丁目12番2号

☎0985-29-0055 FAX.0985-22-6551
<https://www.miyazaki-da.or.jp>

